

# シンポジウム1 「電気泳動のフロンティア 2015」 (31001教室)

セッション		時刻	No.	タイトル	講演者	所属	
4日 (金)	Part 1	電気泳動が開く新領域 Part 1	13:30	1	牛乳アレルギーの検出とアレルギーの低減化、食品科学における電気泳動法の応用	曾川一幸	麻布大学 生命・環境科学部
		座長 武川睦寛 (東大医科研)	13:50	2	B型肝炎ウイルスDNA組み込みによる発癌とその解析法の開発	伊東文生	聖マリアンナ医科大学
			14:10	3	ナノビラー・ナノワイヤチップによる核酸の高速分離法	加地範匡	名古屋大学大学院 工学研究科
		CE-MS	14:30	4	アンフェタミン型興奮薬のキラルキャピラリー電気泳動	岩田祐子	科学警察研究所
		座長 小寺義男 (北里大理)	14:50	5	CE-MS メタボロミクスとがん研究	曾我朋義	慶應義塾大学 先端生命科学研究所
		企業講演	15:10	C1	アフィニティークロマトと等電点分離の直接結合に最適なキャピラリー電気泳動装置(日栄工業株式会社)	志村清仁	福島県立医科大学 先端化学分野
	座長 島崎洋次 (愛媛大理)	15:25	C2	和光純薬工業株式会社		和光純薬工業株式会社	
	休憩	15:40					
	フォスタグ電気泳動	15:50	6	Phos-Tag 電気泳動による“パーキンソン病の発症を抑えるリン酸化”の解析	松田 憲之	東京都医学総合研究所	
		16:10	7	Phos-tag SDS-PAGE法による神経変性疾患タウのリン酸化解析	木村妙子	首都大学東京 理工学研究科	
		16:30	8	シナプス可塑性関連因子のリン酸化の化学量論	細川 智永	理化学研究所 脳科学総合研究センター	
		16:50	9	ヘテロ核リボヌクレオタンパク質Kの質的変動モニタリング	木村 弥生	横浜市立大学 先端医科学研究センター	
	座長 木下英司 (広大院医歯薬保)	17:10-17:30	10	マルチ PK 抗体と Phos-tag を利用した細胞内リン酸化動態の新規解析法	杉山 康憲	香川大学農学部	
	Part 2	キャピラリー電気泳動	10:30	11	アフィニティークャピラリー電気泳動による遺伝子変異解析	前田瑞夫	理化学研究所
			10:50	12	キャピラリー電気泳動を用いた修飾核酸アプタマーのセレクション	栗原正靖	群馬大学大学院 理工学府
			11:10	13	オンライン試料濃縮法を利用した微量生体試料のCE分析	川井隆之	理化学研究所 生命システム研究センター
新規担体を用いた電気泳動		11:30	14	アガロース・アクリルアミド・ハイブリッドゲルを用いた高分子量タンパク質の検出法	大石正道	北里大学理学部	
		11:50	15	分光学的性質に着目した分子マトリックス電気泳動の新たな応用	亀山昭彦	産業技術総合研究所	
		12:10	16	超分子ヒドロゲルを支持体とした未変性タンパク質電気泳動法の開発	山中正道	静岡大学理学部	
昼食	12:30-13:30						
5日 (土)	Part 2	電気泳動が開く新領域 Part 2	13:30	17	CLARITY法によるマウス網膜・視神経の透明化	行方 和彦	東京都医学総合研究所
		座長 亀山昭彦 (産総研)	13:50	18	ローヤルゼリー蛋白質解析への電気泳動の応用	森山隆則	北海道大学大学院 保健科学研究院
	プロテオーム解析の新たなアプローチ	14:10	19	全自動二次元電気泳動装置(Auto2D)を用いたカルニチンの抗酸化作用の解析	三浦ゆり	東京都健康長寿医療センター研究所	
		14:30	20	電気泳動法を用いた血中タンパク・ペプチドの試料調製法の開発	小寺義男	北里大学理学部	
		14:50	21	Diced Electrophoresis Gel (DEG) Assay法を用いた新規創薬標的タンパク質の探索	小松 徹	東京大学大学院 薬学系研究科	
		15:10	22	プロテオーム解析によるバイオマーカー開発におけるmRNAデータを用いたメタ解析	近藤 格	国立がんセンター研究所	
	座長 長塩 亮 (北里大院医療系)	15:30	C3	sainome (新規ザイモグラフィー法)を用いた疾患関連酵素の探索事例 (sainome 株式会社)	小松 徹	東京大学大学院 薬学系研究科	
	座長 香川裕之(横浜市大)	15:45					
	Part 3	休憩	15:45				
		2-DEによるプロテオーム解析	15:55	23	膀胱癌関連蛋白の同定 ～二次元電気泳動を含むプロテオーム解析～	松本和将	北里大学医学部
16:15			24	タンパク質蛍光標識技術を用いたS-ニトロシル化タンパク質の解析法開発	榊原陽一	宮崎大学大学院 農学工学総合研究科	
16:35			25	二次元電気泳動による翻訳後修飾タンパク質(モッドフォーム)の解析	平野 久	横浜市立大学 先端医科学研究センター	
16:55			26	自己抗体を利用した腫瘍マーカー候補タンパク質の獲得	佐藤雄一	北里大学大学院 医療系研究科	
座長 梶原英之 (農業生物資源研)	17:15		閉会挨拶	近藤 格	国立がんセンター研究所 日本電気泳動学会副会長		